

Yavalath

A strategy board game for 2 or 3 players.

はじめに

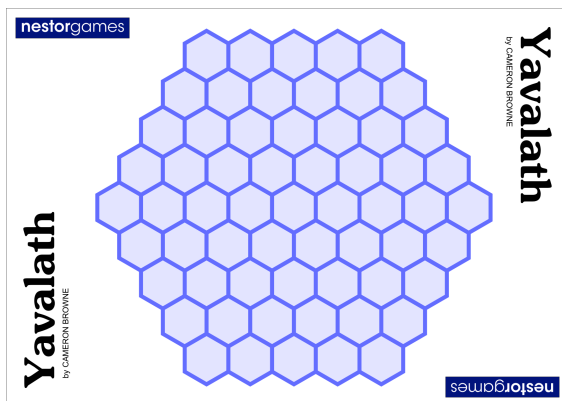
ヤバラス (Yavalath) は、キャメロン・ブラウンによって開発されたルディ (Ludi) というプログラムが 2007 年に創作した、2 人で遊ぶアブストラクトゲームです。

3 つの自駒を直線に並べることなく、4 つの自駒を直線に並べたら勝ちです。

遊具

ヤバラスは以下の遊具で遊びます：

- 61 個の六角形で構成された六角形のボード (下図)：



- 白い駒 x 30 と黒い駒 x 30
- 赤い駒 x 20 (3 人プレー派生ゲーム用)

遊び方

ボードには駒が置かれていない状態でゲームを始めます。

各プレイヤーは自分の色(白か黒)の駒をそれぞれ手元に置きます。

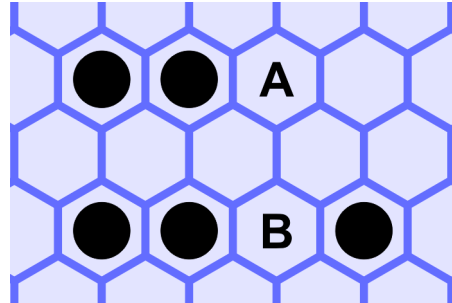
白が先手です。プレイヤーは交互に自分の駒をボード上の任意の空いたマスに配置してゆきます。

先手の極端な有利を防ぐため、黒は自分の最初のターンで、自分の色を黒から白には変更する権利があります。

終局

下記いずれかの状態になったらゲームは終了です：

- どちらかが、4 個(かそれ以上)の自駒を連続して配置することに成功して**勝利**。
- どちらかが、3 個連続して自駒を配置、同時に 4 個の自駒を連続して配置できずに**敗北**。
- どちらかが勝利するか敗北する前に、ボードが駒で埋め尽くされる。この場合、ゲームは引き分け。



黒は、駒を“B”に置けば勝ち、“A”に置けば負け

3 人プレー 派生ゲーム

赤い駒も使って 3 人で遊びます。2 人プレーと同じルールですが、「可能なら必ず、次のプレイヤーの勝利を阻まなければならない」また「4 個の自駒を直線に配置することなく 3 個の自駒を直線に配置してしまったプレイヤーはその時点で負け、ゲームから抜ける」という条件が付きます。最後まで生き残るか、3 個の自駒を直線に配置することなく 4 個の自駒を直線に配置できたら勝ちです。

ペンタラス (PENTALATH) など

ヤバラスの遊具を使って、他にもたくさんのゲームを遊ぶことができます！

そのうちの 1 つペンタラスもまた、**キャメロンが開発したルディ・システム**が創作したゲームで、5 個の自駒を直線に並べたら勝ちです。囲碁と同様、完全に包囲した敵駒グループを、ターン終了時にボード上から除きます。

他に遊べる代表的なゲームは下記のとおりです。

- Susan** (by Stephen Linhart)
- Taacoca** (by Víkingur Fjaljar Eiríksson)
- Cross** (by Cameron Browne)
- Yavalade** (by Néstor Romeral Andrés)
- Yavalanchor** (by Néstor Romeral Andrés)
- Quantum Leap** (by Néstor Romeral Andrés)
- OMEGA** (by Néstor Romeral Andrés)
- Manalath** (by Dieter Stein and Néstor Romeral Andrés)

ティップス、戦略が掲載されているキャメロンのサイトはこちら：www.cameronius.com